

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月 31日 報告

担当課

治水課

補助金等の名称	雨水貯留浸透施設設置工事補助金						
予算科目	一般会計	款	7	項	2	目	5
予算事業名	調整池改修事業						
実施計画の位置づけ	災害に備えた体制を整備します。						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし					千円	
交付先	個人						
支出根拠規定	雨水貯留浸透施設設置工事補助金交付要綱						
補助の目的	水害の低減を図り、災害に強いまちづくりに資するため、住宅の屋根に降った雨水の流出を抑制する貯留施設及び浸透施設を普及する。						
補助の効果	貯留施設及び浸透施設の普及を図ることで浸水被害の軽減が期待されるとともに、貯留施設は節水、浸透施設は河川の平常時水量を回復させ、水質の改善・豊かな生態系の復活などの効果もある。						
補助対象事業の 具体的内容	住宅の屋根に降った雨を地下に浸透させたり、一時貯留して散水などに再利用するような、宅地からの雨水の流出を抑制する施設を設置するとき、ある一定の基準を満たした場合に工事費の一部を市が助成する制度。						
対象経費及び補助率	貯留施設(補助対象:貯留量100リットル以上、敷地内1基のみ) 貯留量1リットル当たり 100円/ℓ(ただし、設置諸費用の1/2を限度とする) 浸透施設(補助対象:内径25cm以上、敷地内4基まで) 自己による設置の場合 1基当たり 2,000円 自己によらない設置の場合 内径1cm当たり 700円 × 基 限度額は、貯留施設5万円(浄化槽転用の場合10万円)・浸透施設10万円、両方を設置する場合10万円						
補助金額の根拠	貯留施設については、設置費用の1/2以内を原則として算定。 浸透施設については、設置費用の10割を想定。						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他						
補助期間	平成27年 4月 1日～令和 2年 3月31日						

貯留施設は、設置者が雨水を散水などに利用できる個人的利益を有しているが、浸透施設は、このような利益を有しておらず、市が推進すべき雨水排水施設整備の代行的性格、治水対策への協力的性格が強いため。

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課		治水課	
補助金等の名称		雨水貯留浸透施設設置工事補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	652	【目標値】 貯留施設(200ℓ) 20基 浸透施設(径300mm) 12基	284	<貯留施設> 100ℓ×2基 120ℓ×3基 150ℓ×7基 180ℓ×1基 200ℓ×3基 230ℓ×1基 1000ℓ×1基 <浸透施設> 0基	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	目標値より少ない容量のタンク申請が多いが、補助金利用を活用し、目標容量より大きいタンク申請もあった。浸透施設は新設住宅でないと申請されにくいため、申請は0件であった。昨年度に引き続き、一部ホームセンターにパンフレットを置かせてもらう。また、広報誌に掲載し、補助金について周知する。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	652	【目標値】 貯留施設(200ℓ) 20基 浸透施設(径300mm) 12基	480	<貯留施設> 100ℓ×1基 110ℓ×1基 120ℓ×3基 150ℓ×6基 200ℓ×3基 227ℓ×1基 250ℓ×4基 500ℓ×1基 1000ℓ×1基 <浸透施設> φ 350mm×4基	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	平成27年度より補助金の交付額が増え、件数は平成27年度の18件から4件増えた22件という結果になった。目標の貯留施設200ℓ×20基、合計4000ℓに対し、4797ℓだったため、貯留量自体は目標を超える形となったが、浸透施設に関しては件数が昨年に引き続き非常に少ない件数となった。 今後の方針としては、補助金制度について知らなかったという方が多いため、周知の方法の検討・実施を行う。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	652	【目標値】 貯留施設(200ℓ) 20基 浸透施設(径300mm) 12基	300	<貯留施設> 120ℓ×2基 150ℓ×1基 200ℓ×3基 250ℓ×2基 275ℓ×1基 300ℓ×1基 500ℓ×1基 <浸透施設> φ 300mm×4基	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	貯留施設が11件で2565ℓ、浸透施設が1件で径300mm×4基であり、平成27・28年度より件数、貯留量とも下回る結果となった。引き続き補助金制度の周知に努め、普及を図る。				

	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
平成30年度	652	【目標値】 貯留施設(200ℓ) 20基 浸透施設(径300mm) 12基	213	<貯留施設> 120ℓ×2基 200ℓ×1基 227ℓ×1基 275ℓ×1基 300ℓ×1基 <浸透施設> φ350mm×4基
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	浸透施設は昨年度と同じ1件、貯留施設においては減少する結果となった。広報やホームページ等でより一層の周知に努める。			
令和元年度	652	【目標値】 貯留施設(200ℓ) 20基 浸透施設(径300mm) 12基	161	<貯留施設> 120ℓ×3基 150ℓ×2基 250ℓ×1基 300ℓ×2基 <浸透施設> φ300mm×2基
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	浸透施設は昨年度と同じ1件、貯留施設は決算額は減少したが、申請件数は増加した。引き続き、広報やホームページ等で補助金制度の周知に努め、普及を図る。			
計画期間終了後の 最終的な目標値	貯留施設(200ℓ) 100基 浸透施設(径300mm) 60基			
計画期間終了後の 最終的な成果値	貯留施設 合計 64基 (内訳)100ℓ×3基 110ℓ×1基 120ℓ×13基 150ℓ×16基 180ℓ×1基 200ℓ×10基 227ℓ×2基 230ℓ×1基 250ℓ×7基 275ℓ×2基 300ℓ×4基 500ℓ×2基 1000ℓ×2基 浸透施設 合計 16基 (内訳)径300mm×6基 径350mm×8基			

